

えべつの未来づくりミーティング

～ 公益社団法人 江別市シルバー人材センター編 ～

令和4年3月28日（月） 江別市民会館3階37号室
午前10時～午後0時

1 江別市の「強み」「弱み」は

・強みとして、ごみの収集が徹底されていると思う。カラス除けも設置されており、きれいに収集してくれる。医療機関も近くにあり、充実している。弱みは、東野幌小学校の近くに住んでいるのだが、バスが1日に1本しかないこと。近所には高齢者が多いが、バスの本数が少ないので、結局ハイヤーを使っている。交通費に対する市の援助がないのも残念。高齢者支援に力を入れてしてほしい。



- ・強み・弱みは裏表になるが、札幌が近いため、札幌と比較してしまう。札幌にアクセスしやすいため、札幌になびいてしまう。ただ、元札幌市民だが、江別に住んでいると穏やかさを感じる。過ごしやすさは強みだと思う。子どもがいる友人は、公園もあり、子育て環境が良いと言っている。一方、小さな子どもを産める病院が江別市立病院しかなく、札幌で産んでいる人も多い。そのほか、雪が多いと移動にデメリットを感じることもある。
- ・強みは、環境が良く住みやすいこと。私は満足している。弱みは、働く場。義理の息子が江別市内で就職先を見つけようとしたが、見つからず、結局、札幌市内で就職した。
- ・強みは、自然が豊かなこと。札幌に近いので、大きな病院やデパートも、自家用車で出かける人にとっては便利。弱みは、雪対策。昨日の自治会の会議でも、話題は雪対策のことばかり。歩道の除雪も間に合っていなかったほか、時間の制約があるため、除雪の途中でも帰ってしまうこともあった。
- ・除雪については、市民のマナーも悪いと思う。冬、車を運転していると、家の前の道路に平気で雪を捨てている人がいる。特に2番通り。その結果、バスが通れなくなってしまう。
- ・ネズミ、カラス、キツネ、アライグマの対策も、本州に比べて遅れている。捕まえて持って行くと、交付金がもらえる自治体もあるが、江別ではもらえない。ネズミについては、ネズミから感染する病気もあり、これから問題になってくると思う。
- ・雪道については、鉄東線の交差点がすり鉢状になっており、通るのをあきらめて遠回りした。店の人が、店の前の道路に雪を捨てるので、そうになってしまう。とはいえ、日中の除雪は難しいとも思う。道路がすり鉢状なのは、どこもそうだった。大型車による事故もあった。
- ・現在、排雪を請け負っている会社の掃除の仕事をしているが、従業員は、今年は大変そうだった。そのような状況を見ると、除排雪が悪いなどと文句は言えないと思った。従業員は、夜やってきて働いて、しばらく休んで再び、長時間にわたって働くなどして、本当に大変だったと思う。
- ・市のホームページに排雪状況が載っているが、雪捨て場が午後5時で閉鎖するし、閉鎖の状態が続いていることもあった。捨てる所もなかったとすると、今年は大変だったと思う。

2 元気に働き続けるために必要な環境について

- ・日ごろの健康管理が大事だと思う。シルバー人材センターでは、85歳を超えても元気に働いている人もいて、個人差を感じる。仕事があるから健康でいなければいけないという気持ちも重要だと思う。自分は野菜中心の食生活や運動などを心掛けている。
- ・自宅の庭で、自分で作った野菜を採って食べる生活を実現するために、江別に引っ越してきた。新型コロナウイルス感染拡大によってシルバー人材センターでも交流する機会が減り、ここ2年間はいろいろなことをできていないのが現状。
- ・外で働くことが元気に働き続けることにつながるという話があったが、高齢者の就職の間口が狭いのではないかと。企業も定年を延長する流れにあり、60歳で定年退職をする人が少なくなる中で、新たに上の年齢層を受け入れるのは難しいと思うが、多少なりとも間口を広げていくことが必要だと思う。
- ・現役で勤めている時に体調を壊して入院を経験し、つくづく健康のありがたみを感じた。シルバー人材センターで先輩に教えてもらいながら仕事を覚えて、今は庭木の剪定や冬囲いなどを行っているが、仕事をするのが一番の健康法だと思う。自分だけで歩いたり運動したり体を動かそうとすると、億劫で腰が重い、依頼が来たよ、と言われると、早起きして、準備して、仕事して帰ってくる。これが一番の健康法。気持ちも適度に張り詰める。自分の体調を気遣って「ゆっくりやっていいよ」と言ってくれた先輩の存在もありがたかった。お客さんに喜んでもらえることが、自分の働きがいにもなっている。
- ・仕事は二の次で、週3回の卓球が一番の健康法。仕事については、新型コロナウイルス感染拡大中は、高齢者宅に行く際に、「この状況ですが、お伺いしてもよろしいですか？」と確認をとりながら訪問し、掃除の仕事を行った。80歳代、90歳代の方のお宅に行くと、掃除に加えて、話し相手をしてほしいという状況であった。
- ・地域の健康推進のイベントに昨年初めて行ったが、割と、仕事を持っている人が多かった。このような取組に積極的に出たいという状況をつくれないうだろうか。また、行きたいと思ってもらえるような工夫があると良いと思う。行っている人は楽しみにしているが、まだ行っていない人にどう参加してもらおうかが重要だと思う。
- ・江別市蒼樹大学に参加していたが、今年卒業したので、今度は聚楽学園に入学する。新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催が延びるなどしていたが、いろいろな話を聞くことができて結構楽しかった。地区ごとに班が決まっていて、「ここに住んでいるの？」と近くに住んでいる知り合いも増えた。
- ・聚楽学園は自主運営。自分も6年間参加したが、とても面白かった。



3 人口減少が進む中で取り組むべき分野について

- ・子どもを産むときに江別市立病院しかないのでは、若い人が安心して子どもを産める環境、産科を増やすことが人口減少に歯止めをかけることになるのではないだろうか。江別市は住むにはとても良いところだが、孫の保育園を見つける時に苦労した経験がある。子どもを産んで育てる環境も大事だと思う。高齢者にとっては割と住みやすいまちだと思っている。
- ・庭木の剪定で高齢者宅に行くと、あれもしてほしい、これもしてほしいと、いろいろなニ

ーズがあるようだ。ただ、シルバー人材センターに電話しづらいようで、シルバー人材センターと上手くマッチングできると、シルバー人材センターの仕事にもつながり、お客さんの要望にも応えられるのではないだろうか。それから、自治会に参加したがない人にどう参加してもらうかも課題だと思う。社会参加の魅力をもっとアピールしながら、参加しやすい環境を整えることが大事だと思う。

- 市広報やインターネットからの情報が届かない高齢者が増えている。そのような人にどう伝えるか。自治会でも連絡網の整備が必要ではないかという話があった。市広報の内容について、高齢者が情報を得やすいように改善してほしい。また、これからは高齢者もインターネットを使うようになるので、検索しやすくするなど、知りたい情報を探しやすいようにしてほしい。
- 子どもを産める環境を整えることが、子育て世帯の定着につながり、高齢化が進む中でも、若い世代が減少していくことに少しでも歯止めがかかるのではないかと思う。市のホームページも、国全体でデジタル化の流れがある中で、どう活用していくのが重要だと思う。
- 自分が住んでいる地域の自治会は小規模で、高齢になると施設に入所する人が結構多いが、結局、家売って、子どもが住んでいる場所に転居してしまう。昨年もそのようなことが2回あり、これが人口減少につながるのだと思った。その一方で、空き家になった場合、一角が80坪ぐらいあるので、そこを二つに分割して分譲すると、住む人が増えるのではないだろうか。
- 高齢化が進んで、単身で一軒家に住んでいる方が増えている。そのような方の情報はシルバー人材センターであまり持っていないが、地域包括支援センターと連携して対応できたらいいのではないかと思う。ただ、個人情報取扱いがネックになってくる。拒否する人もいるので入って行きづらい。
- 自分の自治会では、インターネットを活用してホームページを閲覧できる人が少なく、この間、大雪でごみの収集が中止になったことなどは、伝わらなかったもので、ゴミステーションなどへの貼り紙で対応した。
- 将来は、高齢者もインターネットを使える割合が増えると思うが、今、インターネットを使えない独り暮らしの高齢者の情報がつかめないことが問題だと思う。将来的に解消されていくと思うが、各地域でも、見守りができているのか心配。

